

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和8年度学校評価計画

達成度（評価） A：十分達成できている B：おおむね達成できている C：やや不十分である D：不十分である

学校名	唐津市立名護屋小学校
-----	------------

1 前年度 評価結果の概要	・保護者や地域の方々等の多大な協力を得ることができ、ふるさと名護屋についての学習を充実することができた。特に多くの体験活動や大阪・関西万博でのオンライン発表（5年生）を始め外部に向けた取組の発表などは子供たちにとって貴重な体験となった。子供たちの感想の中にも、ふるさと名護屋のよさ、すばらしさを感じることができたという意見が多く見られた。 ・校内研修では算数科を中心に取り組んだ。各学年の研究授業、外部講師による指導助言を通して研修を深めることができ、次年度への課題を共有することができた。少人数ならではのよさを生かし、さらなる学力向上に努めていきたい。
------------------	--

2 学校教育目標	育てよう！未来を広げる「賢さ」「優しさ」「逞しさ」 — 笑顔が広がる名護屋小 つながりが育てる未来 —
----------	--

3 本年度の重点目標	■賢 さ～しっかりと考え、自ら進んで学ぼうとする子どもを育てる。 ■優しさ～思いやりの心もち、仲良く協力し合う子どもを育てる。 ■逞しさ～チャレンジ精神をもち、最後まであきらめない子どもを育てる。
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	主な担当者
---------------	------	--------	-------

(1) 共通評価項目			中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
重点取組	重点取組	成果指標 (数値目標)	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	○学習に対する心構え及び学習環境・規律の定着	○授業前の学習用具の準備率を90%以上にする。 ○授業中、自分の考えや意見を発表することができる児童の達成率を80%以上にする。 ○授業中、友達や先生の話をしっかりと聞くことができる児童の達成率を90%以上にする。	・学習規律に関するアンケートと、学習に必要な生活習慣に関するアンケートをとり、取組に対する進捗状況を確かめる。 ・取組に対する進捗状況や結果を、学校だよりや学級通信、懇談会などで紹介したり、啓発したりして、目標達成に向けた意欲の向上を図る。 ・月目標の達成者を○の名人として放送することで、めあて達成への意欲づけを行う。また、年間を通して○の名人を掲示することで達成への意欲を高める。 ・学校生活での嬉しかった出来事などをカードに書いて掲示する。模範となる内容については放送で全校に知らせる。	・	・	・	・	・	・学力向上対策コーディネーター ・人権・同和教育担当者
●心の教育	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○Q-Uテストで「学級生活満足群」の割合を70%以上にする。 ○いじめ未解決案件を0件にする。	・学校生活アンケートを学期に一回実施し、実態把握と児童の困り事の解決に努める。 ・学校生活における児童の困り感を職員連絡会等で共通理解する。 ○心身不安の結果やアンケート等で把握した児童の困り感を基に、SCやSSW等と協力しながら対応する。	・	・	・	・	・	ゆたか部 ・教務主任
	○毎日の登下校指導	○毎日の登校の集合時間を守っていたり、地域の方へ挨拶をしたりしている児童を80%以上にする。	・5～6年生の地区長を月末に集め、登下校の評価をさせたり、課題解決に向けて話し合ったりする。	・	・	・	・	・	ゆたか部
●健康・体づくり	●「運動習慣の改善や定着化」 ●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童生徒80%以上 ●「健康に良い食事をしている」児童生徒100%以上	・職員やもりもり健康委員会からの広報により外遊びを奨励したり、外遊びをよくしている学年を称賛したりする。 ・スポーツチャレンジに取り組む、記録を掲示したり学級だよりで広報したりする。 ・学級指導や保健だよりで食事の大切さを伝えていく。 ・食の大切さをもりもり健康委員会から全校児童に伝える。	・	・	・	・	・	たくまし部
	○早寝をして、望ましい生活習慣を身に付ける	○よい子のくらしアンケートで、決められた時間に寝ている児童を80%以上にする。	・毎日の健康観察時に、早寝ができていない子の理由をたずねて、改善していく。	・	・	・	・	・	たくまし部
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	・外部専門家の意を参考に、業務の改善を図る。 ・長期休業期間の業務を精選したり、年休が取得しやすい環境にしたりする。	・	・	・	・	・	・管理職
●特別支援教育の充実	○特別支援教育に関する意識の向上を目指す	○特別支援教育に関する意識が向上したと回答した教員が80%以上	・研修、講座等の内容を職員研修で情報共有・共通理解する。 ・夏季休業中に職員研修を行う。 ・職員連絡会等で定期的に気にとめおく児童の情報交換をする。	・	・	・	・	・	特別支援コーディネーター

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目			中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
重点取組	重点取組	成果指標 (数値目標)	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○地域に開かれた学校づくりの推進	○総合的な学習の時間「ふるさと名護屋」の実践 ○学校の教育方針並びに教育活動の広報	○名護屋のよさを感じることができた児童60%以上。 ○学校における教育活動の様子を家庭や地域に向けて積極的に発信する。	・名護屋城跡をはじめ、ふるさとのヒト・モノ・コトについて地域の人と学び、感心をもたせる。 ・学校だよりの発行や学校HPの更新等に努める。	・	・	・	・	・	・管理職

5 総合評価・次年度への展望	●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育
----------------	---------------------------